

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川昌一 (釜谷正博)	内線	4459 (4467)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業 種目	急傾斜地崩 壊対策事業	事業名	事業区間	総事業費	約 3.3 億円
		急傾斜地崩壊対策事 業 < 万久里 (1) 地区 >	養父郡 関宮町 万久里		

所在地			着工予定年度	完成予定年度
養父郡 関宮町 万久里			H13年度	H16年度

事業目的		事業内容	
防災対策 急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の生命及び公民館を保護する。		急傾斜地崩壊対策事業(防災工事) 擁壁工 L = 440m H = 4m	

評価視点	
(1) 必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地崩壊危険箇所である。 保全人家 21 戸、公民館、一級河川八木川、迂回路の無い町道がある。 平成 10 年に、集中豪雨による斜面崩壊が発生し、斜面は不安定な状況である。
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> 山村部の豊かな緑の斜面は、地域の豊かな景観を構成するもので、保全効果は高い
その他	<ul style="list-style-type: none"> 集中豪雨による斜面崩壊が発生したこともあり、住民の不安は大きく、要望が強い。
(2) 有効性・効率性 有効性 効率性	<ul style="list-style-type: none"> 保全対象に人家 21 戸の他、一級河川八木川、迂回路の無い町道があり事業効果が高い。 事業実施に向け、法指定の同意を得ている。
(3) 環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 待受擁壁工は、化粧型枠を採用し、より自然に近い雰囲気にする。また、ツタ等による緑化も検討する。 斜面脚部を固定することにより、良好な緑の斜面を保全できる。
(4) 優先性	<ul style="list-style-type: none"> 保全対象に人家 21 戸、一級河川八木川、迂回路の無い町道があり事業効果は高い。 H10年に斜面崩壊による災害が発生したため、表土が緩んでおり、小規模な降雨でも斜面崩壊の確率が高いため、早急な防災対策が必要である。 地元要望が強く、事業執行体制は整っている。

評価 の 結果	着手妥当	左 の 理 由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。
---------------	------	------------------	----------------------